

平成28年度「仮設住宅の再編等に係る子供の学習支援によるコミュニティ復興支援事業」の評価・検証について

「仮設住宅の再編等に係る子供の学習支援によるコミュニティ復興支援事業」とは？

東日本大震災によって、いまだ仮設住宅等における生活を強いられている地域があり、復興に向けての学習支援等が必要であるため、被災地における子供の学習環境の好転や仮設住宅とその周辺地域とを結ぶ地域コミュニティの復興促進を図る事業。

「国からの委託事業」としての位置づけ



基本的には事業費を「委託料」として国が全額負担する。

【こども部での対象事業】

①郡山市震災後子どものケアプロジェクト（予算額：17,505千円）

子どもの明るく健やかな成長を促す環境整備を図るため、「郡山市震災後子どものケアプロジェクトチーム」において、子どもや保護者等に対するメンタルヘルスケアに関する相談会や、遊びと運動の実技に関する講演会や研修会等を開催する。

②地域子ども教室（予算額：11,716千円）

地域の参画を得ながら、子どもたちに勉強・スポーツ・文化活動等の場を提供し、放課後の児童の安全で健やかな居場所づくりに取り組む。

【評価・検証方法】

「評価・検証委員会」を設置し、被災地における課題解決に向けての明確な目標設定や効果測定、事業の評価・検証を実施する。



上記事業は、「郡山市ニコニコ子ども・子育てプラン」実施計画にも該当していることから、子ども・子育て会議において評価・検証をする。

各事業の課題及び目標等

【郡山市震災後子どものケアプロジェクト】

(1)課題

震災から5年が経過したが、いまだに子どもたちが屋外で遊ぶことや、低線量被ばくへの不安を抱えている保護者がいるものと推測される。

また、本市の小中学生の体力・運動能力が、全国平均を大きく下回っており、郡山市震災後子どものケアプロジェクトで行った「運動と生活環境に関するアンケート調査」によると、外遊びの時間について「ほとんど遊ばない」と答えた未就学児童は、男子で49.7%、女子で60.6%と高い割合であった。

(2)目標

- ・子ども及び保護者が抱えている震災等に起因する心の不安の解消する。
- ・未就学児童の運動等の状況を把握し、運動あそびをさせることにより、後の体力・運動能力を全国平均程度まで上昇させる。

(3)活動内容

- ・心のケアに関する相談会や、絵本の読み聞かせの実施
- ・運動実技講演会及び研修会の実施
- ・運動と生活習慣に関するアンケートの実施
- ・「郡山市震災後子どものケアプロジェクト」の活動報告とシンポジウム等の開催

(4)効果測定方策

- ・運動と生活習慣に関するアンケートの回答集計
- ・各種活動の参加者数の集計や実務者からの意見聴取

【地域子ども教室】

(1)課題

郡山市震災後子どものケアプロジェクトで行った「運動と生活環境に関するアンケート調査」によると、外遊びより屋内で遊ぶ時間が長い子どものたちの割合が高い傾向が続いている。

また、外遊び・活動の制限により、地域行事等への参画や地域住民との交流の機会が減少しており、震災の影響が長引くことによる子どもたちの心理的ストレスにより、家庭学習や読書の意欲低下につながる懸念される。

(2)目標

- ・地域子ども教室を通して地域住民との交流や、地域行事等への参加に対する関心の高まりを示す児童の増加
- ・地域子ども教室への入会児童の家庭における学習・読書時間の増加
(上記の数値的目標：本年6月と来年2月との対比20%増加)

(3)活動内容

- ・公民館等が開催する行事への地域子ども教室入会児童の積極的な参加
- ・児童の学年に応じた適切な学習支援や読書時間の設定及び継続的な実施

(4)効果測定方策

- ・入会児童及び保護者に対するアンケート調査の実施
(内容：地域交流への興味・関心度、家庭での学習・読書時間の変化等)